

Senshu University Glee Club

専修大学グリークラブ

# 第46回定期演奏会



2010年12月25日(土) 開場 13:30 / 開演 14:00

国立オリンピック記念センター カルチャー棟小ホール

# 《専修大学校歌》

作詞 高野辰之  
作曲 信時 潔

宮城の北 柁地に立ちて  
礎固し 我等が大学  
質実は姿 真摯は心  
学徒幾千 理想に生きて  
濟世の道 ここに学び  
経綸の策 ここに究む

鳳の翼 両手に開き  
世に魁けし 我等が大学  
剛健の意気に 力行の勇に  
学徒幾千 希望に生きて  
常久の富 ここに萌し  
限りなき幸 ここに芽ぐむ  
「我等が行く道 磐石なせり  
我等が行く手は 光に充てり」

# 《イーエル専修》

作詞 秩父重剛  
作曲 片山正見

若き命を 飾る  
勝利の賛歌  
母校の旗へ  
捧げてここに  
覇者の名をつぐ専修我等  
精鋭無双の力を挙り  
怒濤の歩みを進めるところ  
栄光燦たる我らがゆく手  
専修 専修 鳳専修





## ごあいさつ

本日は大変お忙しい中、私ども専修大学グリークラブの第46回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。今年度もこうして定期演奏会を開催できますのは、ひとえに皆様のご支援の賜物でございますことを、部員一同心より感謝申し上げます。

今年度も新入生に恵まれ、皆で研鑽を積み、より良い合唱、より良いサークルを目指して頑張ってきました。ここまでの道程はとても険しく、個人の力ではここまで辿り着くことができなかつたらうと痛感するばかりです。本日の演奏会を通じて、一年間かけて培った私達の歌やクラブに対する思いが皆様に伝われば幸いです。

最後になりましたが、本日の定期演奏会にあたり、ご指導ご尽力くださいました先生方、諸先輩方、ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

専修大学グリークラブ団員一同

## Greeting

専修大学校歌 作詞：高野 辰之 作曲：信時 潔 編曲：岡本 仁

### First Stage

---

**【MESSE DE NOSTRE DAME】 GUILLAUME DE MACHAUT**

- ・ Kyrie 指揮：小橋 良行
- ・ Gloria
- ・ Credo
- ・ Sanctus
- ・ Agnus Dei
- ・ Ite missa est

### Second Stage

---

**【メンデルスゾーン男声合唱曲集】** 作曲：Mendelssohn  
訳詞：津川 圭一

- ・ 狩猟の歌 指揮：山下 洵
- ・ 楽しきさすらひ人
- ・ 価値ある人
- ・ 別れの宴

### Third Stage

#### 【夜から朝への旅路】

指揮：牧井 佑樹  
 ピアノ：森 朋子  
 テノール：菊池 大翼

- ・ 雲 雀  
 作詩：クーコリニク 作曲：グリンカ  
 訳詞：小野 光子 編曲：リツヴェンコ
- ・ 夜の鶯  
 作詞：A. デーリヴィク 作曲：アリャビエフ  
 合唱編曲・訳詞：小野 光子
- ・ 小鳥は鳴きやんで  
 作詞：A. デーリヴィク  
 作曲：A. ルビンシテイン
- ・ バルカローレ  
 作詩：クーコリニク 作曲：グリンカ  
 訳詞：小野 光子 編曲：リツヴェンコ
- ・ 行こうふたたび  
 作詞：田中 清光  
 作曲：佐藤 眞

### Fourth Stage

#### 【現役・OB 合同ステージ】

指揮：小橋 良行  
 ピアノ：森 朋子  
 テノール：菊池 大翼

- ・ 希望の島  
 作曲 H. ジョーンズ 作詞 小松玉巖  
 編曲 平井康三郎
- ・ きみは人と成り  
 作曲 G.P. パレストリーナ 訳詞 津川主一
- ・ Ave verum Corpus  
 作曲 W.A. モーツァルト
- ・ 牡鹿の溪水をしたひて  
 作曲 C.F. グノー 訳詞 津川主一
- ・ ハレルヤ・サーム  
 作曲 C. フランク 訳詞 編曲 津川主一

## 定期演奏会によせて

学校法人専修大学理事長・専修大学学長・法学博士  
日高 義博



専修大学グリークラブの第46回定期演奏会にご来場賜りまして誠にありがとうございます。この記念すべき定期演奏会を開催するにあたり、多くの方々のご支援やご協力を頂き、重ねて御礼申し上げます。

学生諸君は、大学において専攻分野の勉学に励み、さまざまな経験を通じて人格を磨きながら、懸命に日々努力しております。また、毎年定期演奏会を開催することにより、団員としても貴重な経験を得ながら、合唱力の向上に励んでまいりました。その日頃のチームワークと練習は、本日の晴れ舞台に繋がっていると期待しております。

本学は、今年、創立130周年を迎えました。本学の学生諸君を始めとして、教職員、卒業生やご父母の皆さんが一体となり、さらなる飛躍の年となるよう取り組んでいきます。

本日ご来場の皆様には、どうか暖かい励ましとともに、専修大学グリークラブの美しいハーモニーをお楽しみ頂きたいと思っております。

## 継続は力なり

専修大学名誉教授・グリークラブ名誉顧問  
鶴田 俊正



私が好んで口にし書く言葉は「継続は力なり」である。根気よく続けることが結果として大きな力を生み出す例は枚挙に遑（いとま）がない。しかし、「続ける」ことの原動力は夢と志そして情熱にある。専修大学グリークラブは今からおよそ半世紀前の1963（昭和38）年に一人の青年が夢と高い志、そして青年特有の情熱をもって起ち上げ、創立したことにはじまる。創立の一年後に第一回の演奏会を行った。今年の定演は46年目の記念すべき催しである。一口に46年といっても、この間に参加した学生は優に500人を超え、ひよっとすると700人ぐらいに上っているのではないだろうか。今日の舞台は実に多くの青年達の夢と志と情熱の結晶であり、優れた指導者の指導の賜でもある。先日、グリークラブの先輩達が活動しているフェニックス・グリークラブの演奏会を江東区の「ティアラこうとう小ホール」で観賞した。流石に長い合唱活動を基礎としているので、フェニックスの演奏は聴衆全員が舞台に吸い込まれていくような迫力があつた。この時も「継続は力」を実感した。今日はどのような舞台を創ってくれるのであろうか。楽しみである。

## コンサートによせて

専修大学グリークラブ名誉指揮者

岡本 仁



指揮者が交替した途端にめきめきと実力が向上、かつての黄金期に迫る勢いである。指導者がいかに大切かということをつくづく思う。

まず曲目が良い、昨今の聞くものを煙に巻くような薄っぺらい音楽に目もくれず合唱の一番栄えた時代<ルネサンスやバロック>に焦点を合わせて感性と実力の磨き直しを図る所など、小橋氏の見識によるものと高く評価する。

第二にメンバー全員があのですっかり萎んでしまった危機を乗り越えて甦らなければ……という伝統に対するなみなみならぬ決意と努力。ひとつのあかしとしてメンバーの著しい増加がある。

第三に（これが一番重要）数百人になんなんとするOB諸氏ががっちりと現役を支え、ただ単に経済的なバックアップだけでなく合宿その他機会あるごとに合同しての練習、その成果としてステージを数多く持つように尽力してくださったこと（今日の合同ステージも楽しみ）。

歴史・伝統というものは語り継いで行く外にはなく、現役が孤独に陥る事なく常にOBと共に努力を重ねることがこの甦りの原点であるのだから。



## 《専修大学グリークラブ顧問 奥村経世》

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」が出版界で今年の話題となっています。その評価としては賛否両論ですが、身近にある組織や経営という問題にどのように向き合えばよいのかを考えるきっかけになる本だと考えています。ドラッカーによれば、企業の目的は顧客の創造にあります。先にあげた「もしドラ」によれば、組織を支援してくれる様々な人々や集団が顧客に相当します。合唱団としての専大グリーの演奏に何らかの感動を覚えてくださる方々、また学生サークルとしての専大グリーに存在意義を見いだしてくださる方々に支えられているという事実を思い、顧問として改めて感謝の気持ちで一杯です。今日の会場にお出でくださった皆様を始め、多くの方々のご支援により、専大グリーは1年ずつ歴史を積み重ねることができています。改めてお礼を申し上げます。

## 《OB 会長 長岡宏明》

第46回定期演奏会の開催おめでとうございます。世間では、合唱団の人数が激減したり、廃部となる等クラブを取り巻く環境が悪くなっている中、我がクラブは着実に拡大していることに歓びと自信を感じています。今年で47年目を向かえるクラブの伝統とグリーメンの熱い心の蓄積が現在まで繋がっている証しであると思います。今年は今役と一緒に初めて専修大学卒業式の校歌斉唱を行い、また、OB会有志によるフェニックスグリークラブでは、昨年に引き続き沼津にてお地藏さんコンサートをはじめ、ティアラ江東にてホールで初めてのフル演奏会を行いました。数多くの現役諸君も応援に来てくれて、お互いに良い刺激になったのではないかと思います。今後も現役と一緒に盛り上げていきたいと思っております。

## 《J&amp;S陽だまりコンサート 小川聖子(S) 河野順(J)》

この度は、グリークラブ定期演奏会開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。部員の皆さんが、地域に根ざした活動に目を向け、私達と共に一歩一歩進んで頂けた事に感謝申し上げます。貴団の今の活動に、一年間培ってきたことを生かして欲しいと心から願っております。陽だまりコンサートは地域を中心に演奏活動のほか、合唱の指導、個人の指導をしています。貴団とは、多摩区合唱の集いを通じて交流を深めるきっかけとなり、いくつかのステージを共演させて頂きました。専大とは近隣の付き合いの深い事もあり、発声練習のお手伝いをお互いの時間の許すかぎり、努力し各ステージを努めてくださいました。今後とも基本練習を繰り返す事を強く願い、貴団の発展・ご活躍をお祈り申し上げます。

## 《武蔵野大学音楽部ルンビニー合唱団一同》

専修大学グリークラブの皆様、本日は第46回定期演奏会の御開催、誠におめでとうございます。団員一同心よりお慶び申し上げます。

貴団とは、長年に渡り第一交流校として平素より親しくさせて頂いており、大変有り難く思っております。貴団の歌に真摯に取り組む姿勢や、一人ひとりの団結力の強さに、団員一同、多くのことを学ばせて頂きました。本日は、これまでの練習の成果を十分に発揮され、素晴らしい演奏を披露して頂けることと確信しております。

最後になりましたが、本日の演奏会の御成功と貴団の益々の御発展、御活躍を心よりお祈り申し上げます。



### 常任指揮者 小橋 良行

1969年生まれ。福島県郡山市出身。平成4年に専修大学法学部法律学科を卒業。在学中は専修大学グリークラブに在籍する。合唱は中学から始める。作曲と機能と声学を岡本仁、作曲を蔵田雅子、ピアノを沼沢広子、声楽を篠崎常幸の各氏に師事。卒業後の音楽活動は、歌劇や合唱の指揮、編曲など。合唱団員としても数多くのステージを踏む。余談だが、趣味はパイプと葉巻をふかす事。パイプは自作もする。



### ピアニスト 森 朋子

上野学園大学音楽部器楽学科卒業。同大学付属音楽教室講師を務めた後、オーストリア・グラーツ国立音楽大学に留学。上野園大学“春の演奏会”、演奏とナレーションで綴る“Mozart物語”、矢代秋雄・山田泉現代作品演奏会等に出演。2008年にソロ&デュオリサイタル開催。今年1月、ウィーン楽友協会で開催された“Internationales Neujahres Chorkonzert 2010”に伴奏ピアニストとして出演。兼松信子、柳澤美枝子、セバスティアン・ペンダ、マインハルト・プリンツの各氏に師事。現在、ソロのほか合唱・独唱・器楽の伴奏ピアニストとして演奏活動を行っている。



### テノール 菊池 大翼

武蔵野音楽大学大学院修士課程（音楽学専攻）修了。音楽学での声楽史研究と並行して、カウンターテナーとしての演奏活動続ける傍ら、バリトンで日本オペラ振興会オペラ歌手育成部に入所。のちにテノールに転向し修了。バリトン、テノール、カウンターテナーを一人で歌うソロリサイタルを開催する他、多くの演奏会やオペラに出演。町田シティオペラ協会ソリスト会員。藤原歌劇団準団員。専修大学グリークラブ・ヴォイストレーナー



### 学生指揮者 山下 洵

氏は常にポジティブである。個性が過ぎるグリーンメンにもめげずに日々練習を取り行い、とうとう今日の定期演奏会足るに至った。そんな氏だが、ひと度ネットの世界に潜ると奇抜な発想を謡わせれば右に出るものはない、ただの（東方）厨二病なのである。氏の明るさを載せた元気いっぱいのステージを是非ご覧あれ。



### 4年生学生指揮者 牧井佑樹

副学生指揮者の頃からステージを受け持ち、去年は第45回という記念すべき節目の定期演奏会を、学生指揮者としても、更に代表としても見事に成功させた。その輝かしい実績を支える確かな実力とカリスマ性は、今年のステージも成功へと導くに違いない。

## MESSE DE NOSTRE DAME

ギヨーム・ド・マシヨールと「ノートル・ダム・ミサ曲」

ギヨーム・ド・マシヨール（1300頃～1377）は、フランスのシャンパーニュ地方に生まれました。ボヘミア王ルクセンブルク公ヨハンに仕え、王に随伴しヨーロッパ各地に赴きます。

百年戦争でヨハンが戦死すると、フランス国王シャルル五世の宮廷に仕え、ランスのノートルダム大聖堂の聖職の地位も得ました。

マシヨールの生きた時代は、イギリスとフランスの間に百年戦争（1339～1453）が起こり、ヨーロッパ全土にペストが大流行しました（1347～1350）。オスマントルコがヨーロッパに侵入を始めたのもこの時代の出来事です。文芸の世界では、ダンテ・アリギエーリが「神曲」を完成（1321頃）し、ジョバンニ・ボッカッチョは「デカメロン」を完成（1353）させます。

詩人としても有名なマシヨールですが、音楽史上最も重要な作曲家の一人に数えられます。彼の作曲した「ノートル・ダム・ミサ曲」は、それまで個別に作曲されていたミサ通常文が、多声的に一人の作曲家の手により、全曲通作された世界で最初の作品であるといわれているからです。この作品が後の世の作曲家達に、直接的・間接的に与えた影響の大きさは計り知れません。

140曲を超える作品を遺したマシヨールですが、ミサ曲だけでなく世俗歌曲やモテトゥスも多数作曲しています。マシヨールの作品で特筆すべき事は、イソ・リズム（アイソ・リズムともいう…）といわれる定型反復リズムの技法を用いている事です。イソ・リズムとは、同一リズムの反復に、旋律を合わせる構成法です。グレゴリオ聖歌等の一部を借用し、これを一つのリズムとして反復します。これをタレアといい、テノール声部に置きます（テノール・・・保持・持続するという意味。つまり、グレゴリオ聖歌を保持している事から、テノールといいます）。このテノール声部は、一つ一つの音の値は大きいのですが、上に重ねるモテトゥスとトリブルムと呼ばれ

る上声部は音の値は小さく、とても細かく動き、上声部と下声部はとても対照的に構成されています。特に上声部はシンコペーションのリズムが多用されており、この作品が本当に14世紀の作品かと思える程、新鮮な感動と驚きを現代の私たちに与えてくれます。

14世紀の和声の中核を成すのは五度と八度です。その間を縫うように三度・六度も出てきますが、「ノートル・ダム・ミサ曲」に稀に現れる（「Credo」のCrucifixus・・・など）不協和音が効果的に使われているのが、とても印象的です。

更に、他のミサ曲にはあまり見られない終式辞「Ite missa est」がある事が、特徴の一つとして挙げられます。



## メンデルスゾーン男声合唱曲集

メンデルスゾーンといえば何を思い浮かべるでしょうか。オペラの曲やピアノ曲、管弦楽曲の作曲、水彩画を浮かべる人もいるかもしれません。そのどれもがメンデルスゾーンの残した芸術で間違いありません。もちろんこれから、あるいは既に聞いている、この定期演奏会で歌われる合唱曲も彼の作り上げた芸術の一つです。メンデルスゾーンは作品を作り上げるだけにとどまらず、指揮や曲の研究、音楽の復興と多くの業績を残した人物でもあります。いくつか挙げたように、作った曲にとどまらず、様々な分野でもその名を残しています。そのいくつもの分野において彼が生み出した様々な芸術作品は、どれもが有名になるべくしてなった名作であり、見聞きすればその素晴らしさは誰もが理解できることでしょう。

今回の演奏会ではその素晴らしい人物の、素晴らしい多様な名作より、男声合唱として作られた曲の中から4曲、狩猟の歌、楽しきさすらひ人、価値ある人、別れの宴を抜き出してお届けします。その4曲全て、詩の情景が浮かび上がってくるような美しい響き、ハーモニーの楽しさを持っていて、聞いているだけで思わず歌い出してしまうようになる。そんな素敵なお曲です。

男声合唱の力強さ、はつらつとした感じ、そして美しい曲。それらが一体になった、素晴らしい芸術だったと皆様を感じていただけたら幸いです。

# 夜から朝への旅路

### 〇はじめに

人にはどうしても避けられない苦しみや難問というものが訪れるが、人はそれを乗り越えることでさらに人間として成長することができる。これは誰もが経験することであり、実際に多くの作品がこのテーマで作られている。

本ステージもこのテーマに沿った人生の旅を、さらに日没～夜明けに当てはめて表現していく。苦しみ悩む夜を越えて、不安を抱えつつも希望に満ちた新しい朝を感じて頂けたなら幸いである。

### 1. 雲雀 — 18時 —

グリンカの作曲したロシア民謡の中では比較的日本でも知られている曲であり、本ステージの導入ということで、時間は夕方の日没をイメージしている。物悲しいメロディーに乗せて雲雀が飛んでいく夕焼けを想像しながら聞いていただきたい。

### 2. 夜の鶯 — 22時 —

悲しみ悩む様が良く伝わってくる、ロシア民謡らしい曲である。今回のステージがロシアの曲ばかりなのは、ロシア民謡のそのストレートな感情表現からである。日本の民謡とはまた違った、ストレートに悩みや苦しみを表現している様子を表現できたと思う。また今回、我々のボイストレーニングを下さっている菊池大翼先生にソロを務めていただく。そちらも楽しんで聴いてもらいたい。

### 3. 小鳥は鳴きやんで — 0時 —

このステージ唯一の原語曲かつ最も黒い曲。人生には救いようのない苦しみ、忘れられない悲しみがある。この曲は苦しみと悲しみ、そしてそこから生じる怒りの感情のピーク地点であり、また、そのような感情のターニングポイントでもあるため深夜0時をイメージしている。下に訳詩を載せるので、是非一読してから聴いていただきたい。ちなみに前2曲との関係は全くありません。



## 以下訳詩

小鳥は歌っていたが歌いやんだ、  
心は喜びを知っていたがそれを忘れた。

何故に歌好きな小鳥は鳴きやんだの？  
何故に心は暗い悲しみにとらわれたの？

ああ、小鳥は意地悪な吹雪に殺されて  
若者は意地悪なうわさに打ちのめされた！

小鳥が青い海に飛んでゆき  
若者がうっそうたる森に逃げこんでも

海では吹雪のかわりに大波がざわめき  
森では人のかわりに恐ろしいけものたちがほえるのだ！

## 4. バルカローレ — 3時 —

曲名からして舟歌なのだが、今回は嵐が去った後の夜の舟上をイメージしている。愛に悩む歌ではあるが、先ほどまでとは違い悲哀ではなく希望と情熱に満ちているため、今までとは違う感情を受け取ってもらえたらと思う。

## 5. 行こうふたたび — 6時 —

佐藤真先生の組曲「旅」の最終曲。「寂しく悲しいことがあってたしても未来への希望を灯して再び歩き出そう」という歌詞から、人生を旅に見立てた本ステージの最終曲に最初から確定していた曲である。またこのステージを企画するきっかけともなった曲であり、同時にとある理由から非常に思い出深い曲でもある。去年の卒団生ステージの曲でもあるため、自分が在籍した4年間で3回目というとても頻度の高い曲である。

イメージは当然夜明けであり、希望や憧れに満ちた旅立ちの曲にしたい。

## Fourth Stage

### I 「希望の島」

グリーアルバム（カワイ出版）に載っており、多くの男声合唱団に愛されている名曲です。専修大学グリークラブも長年に渡り歌い続け、節目節目やあらゆる場面で重要な役割を果たしてきた、最も重要なレパートリーの一つです。本日の演奏は、本年よりヴォイストレーニングをお願いしている菊池大翼先生の美声交え演奏いたします。

### II 「きみは人と成り」

ジョバンニ・ピエルルイジ・ダ・パレストリーナ（1525頃～1594）は16世紀を代表する作曲家です。カトリック教会音楽に、とても重要な役割を果たしました。100曲を超えるミサ曲、250曲にのぼるモテトゥス、100曲以上のマドリガレを作曲し、中でも代表作「教皇マルチェルスのみサ曲」は本日ご来場の皆様も、耳にされた事があるのではないかと思います。

パレストリーナの音楽書法は後の世の若きヨーゼフ・ハイドンやベートーヴェンの教材となり、多大な影響をあたえました。この「きみは人と成り」は、新約聖書・フィリピ信徒への手紙の第二章によります。この曲も菊池大翼先生のソロと共に演奏いたします。

### III 「Ave verum Corpus」

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756～1791）が1791年に作曲しました。K（ケツヘル）.618で、モテットとかモテトゥスと呼ばれる、カトリック教会の典礼用の合唱曲です。

5分に満たない短い曲ですが、他に比類なき美しさと深い感動を持った作品で、モーツァルトの傑出した才能が凝縮された、珠玉の名曲といえるでしょう。

### IV 「牡鹿の溪水をしたひて」

シャルル・フランソワ・グノー（1818～1893）はフランスの作曲家です。和声学・対位法・作曲を学び、ローマへ留学しパレストリーナの研究をします。その後パリへ戻り合唱団の指揮をしますが、聖職者になる事を望み5年程隠遁してしまいます。しかし、彼の作曲した荘厳ミサ曲の演奏が好評を博した事をきっかけに、音楽の世界へ戻り、作曲家としての道を歩み始めます。

オペラを多数作曲し、代表作「ファウスト」の中の「兵士の合唱」は専修大学グリークラブもレパートリーとしており、当団と縁が深い作曲家の一人です。

グノーはオルフェオン運動の為に多数の合唱曲を作曲しています。晩年は主に教会音楽の作曲に力を注ぎました。

この曲の出典は旧約聖書・詩編42で、冒頭の部分に作曲されています。カトリック教会典礼用の合唱曲で、対位法の作曲技法が使われています。

#### V 「ハレルヤ・サーム」

セザール・フランク（1822～1890）は、前記のグノーと同時代のフランスの作曲家です。祖先に宮廷画家を持つ、著名な画家の家系に生まれました。フランクは対位法の作曲技法に秀で、フーガを多用する作曲スタイルは、この「ハレルヤ・サーム」にも遺憾なく発揮されています。

この曲も専修大学グリークラブ創世の時代から代々歌い継がれてきた、重要なレパートリーです。

人類の歴史に重要な作品を遺してきた作曲家は、例外なくミサ曲やレクイエム・モテトゥスなどの宗教音楽の作曲に力を注ぎ、かつ名曲が多数あります。それらの作品を取り上げ、レパートリーとする事が専修大学グリークラブの活動の中心です。20歳前後の若い学生達の理性と情熱がどの様な形で結実するのか、非常に楽しみです。



# TOP



**中央：1年 永井 雄基**

Topイチ押しの新Face！合唱経験者のため一年生にして早くも戦力として認識されている。だがそんな彼も最近とある軟体動物に脳内を侵略されつつある……でゲソ♪

**左から2番目：2年 寺島 岳**

かつて彼は実直さを封印せし折、点棒の槍を放ったが故終電を失った……。今こそその力を解放すれば点棒はおろか単位が吹き飛ぶやも知れぬ……よくわからない？とりあえず「PicoMagic」聞こうか♪

**右から2番目：2年 中村 正和**

- ・ 2ndTenor から浮上してきた漢
- ・ 人一倍努力家な漢
- ・ 専用語録集がある漢
- ・ 話題に事欠かない漢
- ・ 今後の動向がきになる漢

**最右翼：3年 宮崎 英朗**

去年に引き続きPL (Partleader) を任されし者。神の声を聞き去年のパート方針 (修造式レッスン) から転換するもあえなく失敗。「こんなPLで大丈夫だったのか？」  
「一番良いPLを (ry)」

**最左翼：3年 山下 洵**

今年もTop唯一の細メン。頼もしい学指揮としての一面と怪人リア獣と戦う正義の使者としての二面性を持つHybridhuman (東方味)。キメ台詞は「リア●☆爆☆●☆」

## Second



### 最右翼：1年 坂村 知昭

通称「酒村さん」。酒の席では謙虚な姿勢を見せながらも、手はさりげなく酒に伸びている。麻雀打ちで腕はあるのだが致命的に運命力が足りない。

### 星：1年 田嶋 浩紀

同パートの最上級生から某飛行機テロの実行犯に似ていると謂れのない風評被害を受ける。しかしそんなことにもめげずに笑顔で練習にやってくる打たれ強さを持つ

### 右から2番目：1年 渡辺 俊介

某野球選手と同姓同名の男。野球経験はない。悪い先輩に、語尾に「～だなべ」とつけるキャラ付けをされそうになるがいまいち広まらなかった

### 左から2番目：2年 橋本 拓也

「やあボクはっしー（暗黒微笑）。高校までは順風満帆な人生を送っていたが、大学に入り、グリークラブに入団してから生活は一変。週6

日は大学近辺に留まり麻雀を打つ生活に突入する。

### 中央下部：3年 石川 竜典

グリークラブ「不運（ハードラック）踊（ダンス）ってる」男。彼の不運は生活に深く根付いており、話を聞けば聞くほどいたたまれなくなる。しかし、その人生で培われた忍耐力はびかいち。

### 中央上部：3年 中川 拓也

グリークラブ現代表。代表なのに大事な時期に入院して周りにとんでもない迷惑をかける。健康管理が行き届かないダメなもやし体型の典型。

### 最左翼：4年 浅沼 裕樹

真面目に就活をして卒業する予定であったが、就活に飽きてしまい断念。起業を目指す。趣味は団員の弱みを握って徹底的に叩くこと。得意なことは相手の弱点探し。

## Baritone



**右下の2番目：1年 宇佐美 徹**  
「トオル」と読む。バイトが忙しい苦学生。今回は2, 3, 4stで頑張りを見せてくれる。東方の腕はかなりのモノで、コミケにも出展している猛者なのである。

**左から2番目：1年 高須 大紀**  
イケメン担当その1。A先輩からイジられる。学業に熱心で、討論サークルの活動もしているとか。よく羊毛毡趣味人率の高いグリーに入ってくれたものだ。あだ名は竜児。

**右下端：1年 増本 陽介**  
イケメン担当その2。生意気なので一層イジられる。合唱に興味は無いが、ひだまりの縁で入部する。デーモン小暮と阿澄佳奈をこよなく愛する。リア充なので爆発して欲しい。

**中央：1年 吉村 健太郎**  
合唱経験者。サークル出席率の良さが安定している。最近のみかん配りに精を出す姿が。

その風貌から醸されるミサワっぼさに定評があるが、本人は否定気味。勿体無い限りだ。

**最左翼：2年 青木 祐太**  
□で楊枝を回す事にかけては他の追従を許さない。今年も飲み会で場を沸かせてくれた。聞く人を魅了する美声の持ち主で、部内にもファンが多数存在する。

**最右翼：2年 宮園 貴之**  
今年の夏合宿よりセカンドからコンバートされ、音取りに悩まされた苦労人。これからは、次期代表としての苦勞が待っているだろう…。好きな官房長官は仙谷さん。

**右から2番目：3年 尾上 雄祐**  
ひだまりスケッチが好き過ぎるパートリーダー。4期が濃厚になり気が気じゃない。最近、「歌声が怖い」と言われ思い悩む事も。趣味はひだまりスケッチ。

# Base



**最右翼：1年 秋山 裕平**

期待の新人。軽はずみな言動により、サークルでの立ち位置がかなり危うい。最近、カマキリからスイカへ昇格したらしい。

**黒板右：2年 遠藤 周平**

ベースのレアキャラクター。神田校舎での授業のため土曜日にしか練習に参加できない。あれ？同じく法学部2年の近藤はなぜ練習の出席率高いんだ…？

**黒板左：2年 近藤 明広**

純血のベースメン。自分でも MIDI を作って自主練習に励むもののミスが目立つが、最近は何で修正しているようだ。また、次期ベースパーリーでもある。

**黒板上部：2年 東 克巳**

グリークラブ全体を包み込んでしまうほどの優しき心の持ち主。

先輩への敬いの心を決して忘れない。そんな性格をいかして OB 係として活躍することを期待されつつある。

**最左翼：3年 渡辺 啓**

紆余曲折を経てベースパーリーに。MIDI という名の文明の利器に頼るも作成したデータにミスが多いので役に立たないことも多々あり。

**右から2番目：4年 牧井 佑樹**

3年間バリトンを続けてきたが、今年はベースにコンバート。昨年は学指揮、今年は4年生学指揮でもあり、パーリーに間違いや改善箇所などをズバズバ指摘するのが得意。ベースには欠かせない存在。

卒団生

# 4年生対談

今年度でグリークラスを卒団なされる  
行いました



浅沼 裕樹

このインタビュ―意味わからないよ！4年間全体で見て趣味、ブームで一番力を入れたことは？

牧：それはカラオケじゃないかなあ、あと最近宮園にプロプログラミング教えてる。

なるほど、浅沼先輩は？

浅：強いて言えば嫌がらせかなあ

誰かの弱みをにぎって叩く作業ですか？

浅：そうそうそうそう

まああくまでも愛のあるいじりってことですよな？（↑肯定はしてもらえなかった）

では最後に4年間で思ったことは？

牧：健康管理、去年のこの時期死ぬほど忙しくて、一日でも休んだら終わりだと思って必死で健康管理やってたね。

インジンを買って、口ゆすいで喉ゆすいでを繰り返して。

浅：俺気をつけようとは思ってたけどそこまではやらな

かったなあ。

牧：それがまだ続いているから、あれは良い習慣になったなと。

浅：正直な話、なんともなるってことかな。世の中何とかなるっていうかね、サークルやってゼミやって学校やって何とかなるよ。何とかやらなければ何ともならないな、大学は。

やるのが大事、ですね

牧：ちょっといい話言つから、ここからちょっとじっくり録音して欲しいんだけど

浅：それあれだろ、ほんと最後の練習のときに言う四年生の言葉のとき言おうと思ってた台詞なんじゃないの？

牧：はっ！ じゃあやめとこつ

ああーわかりました。ではそれは取っておいていただきますしょう。

では最後に一言

浅：カップル死滅しろ

牧：お腹すいた

……は、はい！ありがとうございました！！

※ページ数の関係で本インタビュ―は大胆に内容がカットされております



浅：カップルは滅亡する！

はい、えーと……。いきなり出だしを取られた。それでは今年度卒団予定の4年生のお二人、浅沼先輩と牧井先輩にお話を聞きたいと思います。本日はよろしくお願いします。まず、お二人がグリーククラブに入ろうと思った理由は？

浅：気付いたら入れられてた。

へ？

浅：俺は360円の唐揚げ定食でこの4年間を売ってしまっただんや!!

牧：右に同じ

ははあ。つまりご飯の香りで引つ張られてきて、気が付いたらここにいますね。

牧：一応俺は「音楽系のサークルなんだけど」って言われて、元から音楽はやりたかったから……。それで来たんだけど。まあ決め手になったのは最初の宴会で……。誰かに

いきなりserの話をされたんだよねえ、鍵は好きかって聞かれて「ああ、好きです」って……。

あーなるほど、そんな恐ろしい……。浅沼先輩は？

浅：360円をおごられたからその恩のために「よし、じゃあ一回くらい顔出すか」というふうにならなっていたら気がついたらこうなっていた……。

牧：だって俺入団コンパより後になるまでこのこと知らなかったから……。コンパ俺一人だったんだよ。

ええ!?

浅：ということは卒団コンパも俺がいなければ牧井は常に一人。

牧：ちょっとやめてよ……。入場とかも、先頭に誘導する人一人いてその後に俺一人で、一対一で……。

泣ける……。

浅：恥ずかしくないのおそんなことやって一人で……。

牧：お前のせいだろ！

これはひどい……。

サークルで一番力を入れていたのはなんですか？

趣味とかで。

牧：悟りを開くことです

浅：それこそ一週間(11月下旬当時)の話じゃないの! (合掌する牧井先輩)

企画

# インタビュー

浅沼先輩、牧井先輩にインタビューを



牧井 佑樹

# Glee Life

2009年

12月 第45回記念定期演奏会

2010年

1月 4年生追い出し行事

4年生追い出しコンパ

2月 春合宿（千葉県みなみ荘にて）

3月 卒業式（校歌指導）

4月 入学式（校歌指導）

新歓活動（麻雀・カラオケ等）

新歓合宿（愛川ふれあいの村にて）

5月 新歓コンパ

6月 前期幹事行事（ボーリング）

黒門祭

9月 シュワッチザレーション（山手線半周ハイク）

夏合宿（山梨県やすらぎ荘にて）

五大交流会（東洋大学白山キャンパスにて）

10月 後期幹事行事（ミニサッカー）

11月 多摩区民祭（多摩区民館）

12月 第46回定期演奏会

（青少年記念オリンピックセンターカルチャー棟小ホール）



# Staff

## 名誉顧問

鶴田 俊正

## 顧問

奥村 経世

## 代表

中川 拓也

## 副代表

山下 洵

## 会計

渡辺 啓

## 渉外

石川 竜典

## 渉外補佐

近藤 明広

## 先生係

尾上 雄祐

## 先生係補佐

宮園 貴之

## OB マネージャー

宮崎 英朗

## OB マネージャー補佐

東 克己

## 合宿係

青木 裕太

寺島 岳

## 渉内

橋本 拓也

## 書記

中川 拓也

## 総務

中村 正和

## 常任指揮者

小橋 良行

## ピアニスト

森 朋子

## ボイストレーナー

テノール

菊池 大翼

## 学生指揮者

山下 洵

## 副学生指揮者

寺島 岳

## トップテナー PL

宮崎 英朗

## セカンドテナー PL

中川 拓也

## バリトン PL

尾上 雄祐

## ベース PL

渡辺 哲

## 4年生学生指揮者

牧井 佑樹



スタッフ

**演奏会協力**

専修大学グリークラブOB会  
武蔵野大学ルンビニー合唱団  
東洋大学混声合唱団  
大正大学混声合唱団

**後 援**

専修大学  
専修大学校友会  
専修大学育友会  
専修大学学術文化会

**発行所**

専修大学グリークラブ

**パンフレット編集**

中川 拓也

**ステージマネージャー**

中川 拓也

**ステージマネージャー補佐**

遠藤 周平

**印刷所**

有限会社エージーピー

小田急向ヶ丘遊園駅前  
営業時間 9:00~23:30

# BIG BOWL

24レーン コンピューターボウリング  
ビリヤード・卓球も営業中

BIGBOWLがもっとわかる ホームページアドレス

<http://www.bigbowl.jp>

サービス券や新情報満載!

〒214-0014 川崎市多摩区登戸2735中和ビル5F

☎(044)932-1552

がんばれ専グリ!

コンパ・御宴会

永 花

向ヶ丘遊園駅北口

☎044(911)3405

◆保険代理店

◆出版局 学術図書・教科書・論集の製作

◆旅行代理店 国内・海外旅行

◆購買会 各種申し込み・書籍・文具販売

・ゼミ・卒業旅行などにご活用ください。  
専大生なら3%割引になります!

・教習所・専門学校は割引価格にて受付をしています。  
国際学生証・ユースホテル会員証も即日発行!

## 株式会社 専大センチュリー 専修大学 購買会

### セブン-イレブン 専修大学生田校舎店



みなさん  
きてくださ~い

Tel 044-935-1680

## セブンイレブン 川崎登戸店

お客様に愛される誠実な店舗に

向ヶ丘遊園駅北口より徒歩10分

## 専大学生の憩いの場

〔富士ベーカリー〕  
VIEW  
CABIN  
NAP TIME

パーティーコンパお受け致します

**Tel 044-911-6198**

J&S陽だまりコンサート・わらべの会 陽だまりの会・赤とんぼの会  
.....

日本のうた・心のふるさと

懐かしい母が歌ってくれた子守唄・童謡の数々、無邪気に歌っていたあのころ。

今改めて耳にしたとき、そして自分で歌ってみたとき、

懐かしさと安らがせて、心が一杯になります。

『聴いてください・一緒に参加してください』

川崎市多摩区枅形6-10-5 TEL・FAX 044-922-5855

居酒屋・ラーメン

## てのぞい屋

当社には  があります

 で触れ、 をかけ、 の温もりを伝える。

 で感じ、 で覚え、 が教えてくれる。

それはてのぞい屋スタッフ一同の大きな喜びです。

向ヶ丘遊園駅北口より徒歩一分  
044-930-2260

## 印刷屋さん

会社案内・チラシ・パンフレット・  
カタログ・名刺・封筒・ハガキ など

印刷物の多少を問わず、お客様のニーズに  
合わせた企画・デザインを作成し、  
必ずご満足いただける製作をお約束致します。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

## 有限会社 エージーピー



〒183-0006府中市緑町3-33-11  
TEL 042-362-8880  
FAX 042-362-9085  
E-mail: agp@helen.ocn.ne.jp



**Senshu University Glee Club**  
**The 46th Regular Concert**